

とよなか まちづくり 手帖

令和6年(2024年)
2月発行

第21号

喫茶ランドリー
(東京都墨田区)



INDEX

- それゆけ!まちづくり探検隊!!~東京都墨田区・喫茶ランドリー
神奈川県座間市・喫茶ランドリー ホシノタニ団地~ 1・2・3P
- まちづくり掲示板 4P
- 「竹林整備でまちづくり活動」のご紹介(豊中市・千里東町公園) 5P
- まちづくり人リレー 6P
- 第36回まちづくりセミナー
「ひき算から始めるまちづくり」 7P

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



(回覧)



40万人の
とよなか
未来バトン

SDGs to 2030

それゆけ!

まちづくり探検隊!!

このコーナーでは、マチカネくんがまちづくり活動をしているさまざまなまちを探検するよ!



今回のまちづくり探検隊は、東京都墨田区にある株式会社グランドレベルの喫茶ランドリーに来ているよ。この会社の田中元子さんに、まちづくりのきっかけについて色々聞いてみるワニ!



マチカネくん、こんにちは。喫茶ランドリーによこそ! はじめまして、田中です。この会社を経営しています。

株式会社グランドレベル代表取締役社長
田中元子さん
喫茶ランドリーオーナー



社長さんなんですか。このグランドレベルという会社はどんな会社なんですか?

株式会社グランドレベルは「1階づくりはまちづくり」をモットーにしたデザインする会社です。



「1階づくりはまちづくり」?



そうなの、もう少し詳しく説明するね。あらゆる建物の1階、公園や歩道といったいつもの目線にある風景が、すべての人々にとって自然に過ごせる場所となること、まちや社会に生きることがより有意義なものとなるよう、活動しています。住宅やマンション、商業施設にオフィスビル、市役所などの公共施設、あらゆる1階がそんな場所だったらどうだろう、という思いから、建築や都市の設計やプロデュース、「喫茶ランドリー」の運営などを手がけています。わたしたちは、企業、組織、個人に関わらず、地域にひらいた1階づくりをお手伝いする会社なの。



ここには、前回に紹介した「泉北ラボ」と同じようにランドリーがあるんだね。

実はここをお手本にして前回取材された「泉北ラボ」は作られたんです。私は、「1階づくりはまちづくり」の考え方を全国に広めているの。



「1階づくりはまちづくり」のお話を詳しく教えてくださいませんか?

私は、趣味で自分の屋台を引いて、まちに繰り出し、行きかう人たちにフリーコーヒーをふるまっていたの。色々な人と交流を深める間に、人々が歩く道路、公園、駅など施設や建物の1階のレベル(領域)が気になったの。今のまちは、多くの人が交差する1階のレベルの可能性を眠らせたままなんだって気が付いたの。



1階の可能性?

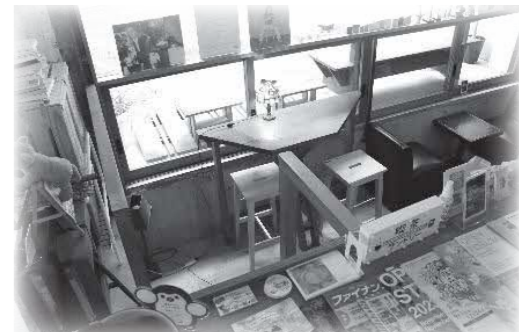


人や建物やまちの価値を高めるには、3つのデザインが重要な。建物の設計などの「ハード」、そこでのサービスや事業、暮らしや活動などの「ソフト」、それらをみんなのチカラで自走させていく「コミュニケーション」。この3つ。

「ハード」や「ソフト」はイメージしやすいけど、「コミュニケーション」はどんなイメージなのかなあ?



建物や場所が出来あがるのがゴールじゃなくて、その場所に関わる人たち、近くに住んでいる人たちが「この場所で、こんなことができればいいのにと」か、「こんなことをやってみたい」という思い、そんなことを大切にしながら、ワークショップやレクチャー、対話を通じて育てていくこともデザインなの。まちの人が、いきいきと楽しく暮らしているイメージね。



取材中、通りを歩いているおばあちゃんに気が付いて...



~~おばあちゃんと田中さん~~



田中さん 日出子さん! 元気?

マチカネくん お知り合いなんだね?

田中さん そうなの。とってもお元気なの。四捨五入すると100歳ね。

日出子さん 散歩していると、いつもこのみんなが、お店の中から手を振ってくれるのよ。それがとっても嬉しいの。お散歩の楽しみになっているの。

田中さん いろいろな人との関わりが大切な。無関心が一番駄目ね。1階だから目線が合うの。

マチカネくん 1階ならではのお話だね!

これ一番大事



「家にこもっているのは良くないから」と娘の滋美さん





喫茶ランドリーホシノタニ団地に行ってきたワニ!
ホシノタニ団地のスタッフのみなさん!
お店の紹介をお願いするワニ!

喫茶ランドリーホシノタニ店は2019年10月31日に、
神奈川県座間市の駅前、ホシノタニ団地の1階にグランド
オープンしました。

店内には、コーヒーや紅茶、クラフトビール、軽食などを楽しめる喫茶
スペースと、奥にはランドリーやアイロン、ミシン付きの「まちの家事室
スペース」も。コーヒーだけでも、洗濯だけでも大歓迎。



お店のお手伝いをするスタッフ
さんは、田中元子さんがフリー
コーヒーをふるまっているのを
ママ友から聞いて、面白そうと
思ったのがきっかけになったん
だって。
面白そうって大事ワニ!



近くの高校の美術部の作品展示会にも
使われています。
その縁で、高校生も喫茶に立ち寄るよう
になりましたよ。



地域の人がこの場所の
使い方を考えるんだね!
面白いワニ!



これからまちづくりの活動をはじめようかなって、思っている
ひとに、田中さんからひとことアドバイスを!

そういう思いを持たれている方は、私が何か言う前に、もう行動を起こしている
と思います。でもあえて言わせていただくなら、自分自身に正直に。今が楽しい
か常に自分自身に問いかけながら進んでください。もちろん、立ち止まったり、
休憩もありです。無理をしないこと、自分らしくあること!



ありがとうございました。
2月9日(金)のまちづくりセミナーを
楽しみにしています。詳しくは最後の
ページに。



ひとりでゆっくり、友だちと楽しく、
PC仕事にもものづくり……
イベントや撮影ごとにも使ってもら
えます。
どんなひとにも、自由なくつろぎ。
それぞれ自分の時間を楽しんで
もらってます。



まちづくり協議会便り (豊中駅前まちづくり推進協議会)



令和5年10月21日、豊中駅前人工デッキにて、豊中駅前まちづくり
推進協議会主催のイベント「豊中駅前まちづくりトークフェスタ“歩いて
楽しいゆとりあるまちを考えよう”」が開催されました!豊高生による
演奏や太極拳、大池小学校の生徒さんのまちづくり研究発表などの
楽しいイベントを交えつつ、まちに対するみなさんの“声”をたくさんい
ただきました。第2部では阪急電車の駅舎をつかったVR体験や専門家
の方による「ウォークアブル」についての講演など盛りだくさんなイベント
となりました!



豊中駅前まちづくり推進協議会
のページはこちら(外部サイト)



前回のセミナー報告

第35回まちづくりオンラインセミナーを開催しました。
「泉北ラボのひみつ」～つなぐ、つながる～
(講師)公益財団法人泉北のまちと暮らしを考える財団
代表理事 宝楽 陸寛さん



当日の参加者は61名でした。たくさん受講感想ありがとうございました。

【受講感想より】

- ◆まちの家事室という考え方がそのまま施設になっているというのが素晴らしいと思った。
- ◆歩ける距離にいる人がターゲットというのもわかりやすいと思った。
- ◆資金調達についてこれほど具体的にきいたのは初めてだったので、参考になりました。とても大変なことだということもわかりました。
- ◆小さなコミュニティを増やしてやっかいな問題に対処するという話は非常に参考になりました。イベントみたいな大きな風でなく、小さな風を重ねていくことが大事なんだなと勉強になりました。
- ◆泉北ラボのようなコミュニティ機能をもつ場所が市内に増えると、素敵なまちになるだろうなと思いました。
- ◆私設公民館の話が印象深かったです。
- ◆こういったコミュニティの発想が必要と感じた。

「見つけよう! #とよなかジェニック」作品大募集中!!

Instagram 写真コンテスト
見つけよう!
#とよなかジェニック

豊中市では「見つけよう! #とよなかジェニック」と題し、Instagram投稿に
よる景観フォトコンテストを令和6年(2024年)8月31日(土)まで開催しており、
現在冬季の写真を大募集中です!
応募方法や、応募に関する注意事項は特設サイトの応募要項をご覧ください。
たくさんのご応募お待ちしております!



<http://toyonakagenic.jp/>

「とよなか百景を詠む」かるたの詠み句にたくさんのご応募をいただきありがとうございました!!

「とよなか百景かるた」制作のための詠み句を、令和5年(2023年)7月3日から9月29日まで募集しました。
予想を上回るたくさんのご応募をいただき、ありがとうございました!
かるたとして採用しました詠み句につきましては、1月中にHPにて掲載します。

また、「とよなか百景かるた」は令和6年(2024年)3月中旬ごろより、豊中市役所都市計画課の窓口等で販売開始予定です。お楽しみに!

※「見つけよう! #とよなかジェニック」及び「とよなか百景かるた」に関しては以下までお問い合わせください。

【問い合わせ先】都市計画課 景観形成係 TEL06-6858-3143

千里竹の会豊中

千里の竹を守り育てる活動を進め、竹細工、竹炭及び竹酢液作り、竹イベントなど、竹にまつわる文化の発展、育成を行い、会員間の親睦を深めるとともに、地域社会の発展に尽くすことを目的としています。

作業前の体操は皆さん一緒に行います。
ご安全に!

間伐作業の時は、大きな声がかかります。
「倒れるぞ〜!」

ベテランの技!
阿吽の呼吸で着々と作業
は進みます。

綺麗に枝を払わ
れた竹は、竹垣な
どに使うため保管
します。

作業が無事終了。お疲れ様でした。

短めの作業時間でしたが、
笑い声が絶えない作業現場でした。

あっという間に、約3m程の
竹垣が2箇所作り変えられ
ました。凄い!



間伐作業の後は枝払い。
「数年前に竹籠づくりの教室に
参加したのがきっかけで」と、枝払い
を手早くする子育て中ママさん。
「いい運動になるし、知らない
ことが多いので、先輩方から色々
教わっています」とのこと。使う
道具もメンバーさんのお手製。



まちづくり人リレー

このコーナーは、自身の暮らすまちを
より良くしたいと奮闘されている
豊中のまちづくり人を紹介する連載です。

千里竹の会豊中代表幹事
ひえだ たいぞう
稗田 泰三さん



稗田さんは千里竹の会で豊中代表幹事をされています。定年退職を
きっかけに、何か地域に貢献できる活動を探していたところ、千里東町
公園で竹林整備をしているのを知り、活動に参加されたそうです。
主に千里東町公園の竹林整備を担当されています。

Q 千里竹の会の特徴について

A 会員数は31名(女性8名、男性23名)です。豊中市を
はじめとして吹田市、川西市及び尼崎市など近隣の
地区からの参加者もいらっしゃいます。主に現職を
退いた方が多いですね。活動日は毎週木曜日と第
2・第4土曜日、時間は13:30から15:30です。他に
も竹細工や、竹炭や竹酢液作りも行っています。

Q 活動を始められてから、どのような反響がありましたか?

A 第一回みどりのまちづくり賞ランドスケープマネジ
メント部門で「国際花と緑の博覧会協会会長賞」をはじめ
として、様々な賞をいただいたりしています。とても励み
になりますね。



Q 継続の秘訣は?

A 活動は強制的ではなくメンバー各自の都合に合わせて参加いた
いでいます。会の鉄則として、短時間作業と厳しい縛りやノルマを
作らないこと、自身の健康状態と相談しながら参加してもらうこと、
健康のために月5~6回竹やぶで汗を流しています。メンバーとの
おしゃべり、仲間づくりも活動の目的の大切な部分です。



Q これからの活動の展望や、今後に向けた思いをお聞かせください。

A 今後も地道に汗を流し竹林の保全活動を続けますが、メンバーの高齢化や、後継者
不足の問題が頭をよぎるようになってきました。メンバーの年齢層は現職を退いた
方が多いのが現状で、定年延長などで働く期間が長くなり、新規に活動参加される
メンバーが少なくなりました。何か良い策はないかと苦慮しています。
この千里東町公園の竹林は駅近くにあり住民の手でその保全や整備が行われ、美
しい環境が保たれています。また、この活動に参加しているメンバーの人は、竹
林の中で体を動かすことで健康になり、竹林に癒され、生活の一部になっています。
この活動に興味のある方と一緒に汗を流しましょう!



まちづくりセミナー

講師

株式会社グランドレベル代表取締役

田中元子さん

「ひき算から始めるまちづくり」

「1階づくりはまちづくり」

フリーコーヒーから

喫茶ランドリーへ

私設公民館を作る

ゼロから?

足し算?

引き算!

1階に人が集まるとは...

二月九日(金)十九時からウェブ開催



事前申込み制

豊中市都市計画課

お問い合わせ先

〇六・六八五八・二九七